

令和3年度 事業報告書

学校法人 福寿会
福島医療専門学校

〒963-8026 福島県郡山市並木三丁目2番地の23
TEL 024-933-0808 / FAX 024-933-7887
URL <http://www.f-iryo.ac.jp> / E-mail koho@f-iryo.ac.jp

1. 法人の概要

■法人名 学校法人福寿会 / ■理事長 岸野 政子

■学校名 福島医療専門学校 / ■学校長 飯島 正治

■所在地

本部・柔整科校舎

〒9363-8026 福島県郡山市並木三丁目2番地23号

TEL 024-933-0808 / FAX (代表) 024-933-7887

鍼灸科校舎

〒963-8026 福島県郡山市並木三丁目3番地21号

TEL 024-927-8803 / FAX 024-927-8803

歯科衛生士科校舎

〒963-8026 福島県郡山市並木三丁目3番地23号

TEL 024-927-1248 / FAX 024-927-1252

第4校舎・福寿リハビリ介護ステーション

〒963-8026 福島県郡山市並木三丁目3番地の26

TEL 024-954-7884 / FAX 024-954-7885

附属接骨院

〒963-8026 福島県郡山市並木三丁目2番地23号

TEL 024-991-6385 / FAX 024-933-7887

附属第二接骨院

〒963-8035 福島県郡山市希望ヶ丘5番地2

TEL 024-962-9110 / FAX 024-962-9112

附属鍼灸治療院

〒963-8026 福島県郡山市並木三丁目3番地の26

TEL 024-954-7884 / FAX 024-954-7885

附属なみきッズ保育園

〒963-8026 福島県郡山市並木一丁目13-11

TEL 024-973-6470 / FAX 024-973-6471

■設置する学部・学科の一覧

課 程 名	学 科 名	部 別	修業年限
医療専門課程	柔 整 科	1 部	3 年
医療専門課程	鍼 灸 科	1 部	3 年
医療専門課程	歯科衛生士科	1 部	3 年
医療専門課程	歯科衛生士科	2 部	3 年
文化・教養専門課程	日本語学科	進学2年コース	2 年
文化・教養専門課程	日本語学科	進学1.5年コース	1.5 年

■学生数の状況

柔 整 科	学年	部	男性	女性	計
	1年	1部1組	18	10	28
		1部2組	22	6	28
	2年	1部1組	20	4	24
		1部2組	19	4	23
	3年	1部1組	22	10	32
		1部2組	24	8	32
合 計			125	42	167

鍼 灸 科	学年	部	男性	女性	計
	1年	1部	18	12	30
	2年	1部	24	12	36
	3年	1部	13	10	23
	合 計			55	34

歯 科 衛 生 士 科	学年	部	男性	女性	計
	1年	1部	1	39	40
		2部	0	19	19
	2年	1部	0	35	35
		2部	0	19	19
	3年	1部	1	35	36
		2部	0	26	26
合 計			2	173	175

日 本 語 学 科	1年	入学時期	男性	女性	計
	1年	4月生	36	16	52
		10月生			
	2年	4月生	0	0	0
		10月生	0	0	0
	合 計			36	16

柔整科・鍼灸科・歯科衛生士科は2022年5月1日時点の数、
日本語学科は入国予定者を含む数で表す

■役員・教職員の概要

学校法人福寿会 役員一覧

役 職	氏 名	役 職
理事長	キシノ マサコ 岸野 政子	学校法人 平成医療学園 常務理事
理 事	キシノ マサミ 岸野 雅方	学校法人 平成医療学園 理事長
		学校法人 札幌青葉学園 理事長
		全国柔整鍼灸協同組合 理事長
理 事	モミヤマ テツオ 樺山 哲男	株式会社 テックス 代表取締役社長
理 事	フクシマ ヨシユキ 福島 佳之	株式会社福島会計センター 代表取締役社長・税理士
理 事	ツチエ ナオイチ 土江 直一	元：全国柔整鍼灸協同組合 理事・事務局長
理 事	イイジマ マサハル 飯島 正治	学校法人 福寿会 福島医療専門学校 校 長
理 事	キノ タツジ 木野 達司	学校法人 福寿会 福島医療専門学校 副校長
監 事	ヨシダ アキヨ 吉田 明代	学校法人 平成医療学園 監 事
監 事	イトウ タカノリ 伊藤 栄紀	伊藤総合事務所 司法書士

以上 9 名

■教職員の概要

職名	男性	女性	計
理事長		1	1
校長	1		1
副校長	1		1
顧問	1		
教務部 専任教員	17	16	33
教務部 兼任教員	25	8	33
カウンセラー		1	1
附属治療院	2	3	5
福寿リハビリ介護ステーション	1	5	6
事務局長	1		1
事務局職員	5	8	13
なみきッズ保育園	0	26	26
合 計	54	68	122

2. 事業報告

■令和3年度における主な事業の報告

1) 教育活動

本校は医療専門課程 柔整科、鍼灸科、歯科衛生士科並びに文化・教養専門課程 日本語学科を設置する専門学校である。医療専門課程では職業教育に力を注ぎ、専門的な知識と技術の修得ならびにその先にある国家資格取得を目標として掲げている。

令和3年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症対策を徹底して教育活動を展開した。具体的には Teams を用いた学生からの健康状況報告と科内での情報共有、体調不良者に対する Zoom を用いたオンライン授業、教室・実習室の空気清浄機・除菌機の導入と、マスク着用と手指消毒徹底は勿論のこと、学校管理下における感染症予防と対策に注力した。この結果、新型コロナウイルス陽性者も数名が学外で感染したことに留まり、学校内での感染拡大を未然に防ぐことができた。

国家試験対策においては、今年度も教務部全体が部長、副部長、学科長を中心に一丸となって取り組み、前年度から実践していた ICT 教育システムを早期から活用して、授業や国家試験対策セミナーに活かすことができた。特に Onedrive や Teams を用いた教員-学生間のやり取りは前年度以上に活性化され、ICT 教育の推進が図られた1年であったと考える。さらに柔整科、鍼灸科においては模擬試験をグループ校全体で実施する体制が整備され、各校が連携協力して問題作成と分析に取り組むことで、今まで以上に全国的な傾向と対策を掴みながら、学生へフィードバックする手法を実践することができた。なお、国家試験の新卒合格率は柔整科 75%、鍼灸科 100%、歯科衛生士科 96.9%という結果であった。柔整科は残念ながら満足できる結果ではなく、一層の努力を要するものと最認識している。

文化・教養課程日本語学科は開設当初から導入していた介護プログラムを継続・発展すべく活動する予定であったが、世界規模での新型コロナウイルス感染症の流行により、留学生の来日が制限され、年間を通して入学が叶わなかった。但し、無償のオンライン授業を提供し日本語学習機会の拡充を図るなど、次年度入学に繋がる取り組みを行った。次年度には改めて介護プログラムによる入学者を確保するため、受入施設の拡充を計画している。

2) その他事業

本校では付帯事業として企業主導型保育事業「なみきッズ保育園」の運営と収益事業として「第一、第二附属接骨院」「附属鍼灸院」「福寿リハビリ介護ステーション」の運営を行っている。これらの附属の治療院・介護施設は本校のカリキュラムと連動させ、学生への臨床の現場として実習施設を兼ねるなど、教育効果向上の側面も併せ持っている。令和3年度はこれらの附属施設の収益増強と事業安定化を目的として、活動を行った。まず附属治療院においては管理する体制を明確化するため、新たに統括長の下で各施設を一元管理する組織体制を構築した。毎月の目標を設定し、各治療院スタッフが一堂に会して意見

交換をする会議を設け、治療技術や知識の共有と連携協力して取り組む意識改革を実践した。また患者獲得に向けて、新たな機械・備品の導入や患者指導にも積極的に取り組み、新患・再患率の向上に繋げることができた。次年度も新たな目標を掲げ、継続して取り組むように求めたい。なみきッズ保育園では顧問を交えた管理体制の強化、主任・リーダーとなる人材の育成に取り組み、園長を中心とした確固たる組織体制が構築できたと考える。保育園は毎年3月の卒園で大幅な園児の移動が生じるところであるが、計画的な定員確保活動によって、ほぼ定員充足が図られている。保育園に関しては、ハード面・ソフト面で最も安定した施設の1つとして成熟してきたと捉えている。

いずれの附属施設も新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなく、そのような状況下でありながら収益増と経営安定化に向けては前進できた1年であった。今後はボランティア活動等々もより活性化させ、医療と保育という2本の柱で地域社会に貢献できる事業のさらなる発展と人材育成を図りたいと考える。